

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム しおさい

作成日: 令和 5 年 3 月 22 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の為、現在は書面での開催が続いているが、委員には事業所からの報告で終わっている。紙面上でのやり取りを記録していくことで委員との関係を継続し、コロナ収束後の対面で行う運営推進会議に繋げていく。	2ヶ月毎に送付する報告書に対する各委員の感想や質問、意見、要望等を丁寧に収集し、議事録に載せることで、双方向的な書面会議としていく。また、コロナ収束後には、家族、地域、行政、他事業所と協働して地域の課題に取り組む開かれた会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	36	災害対策	年2回、避難訓練(自主訓練)を行っているが、特に夜間、夜勤者一人で9名の利用者を安全に避難誘導する訓練を重点的に行っていく。	夜勤に入る職員を中心に、夜間帯の避難誘導の手順や法人内職員や近くに住む職員への協力要請の手順等、具体的な協力体制を確認し、シミュレーションを重ね、いざという時に慌てないように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。